特別会計

１　国民健康保険事業会計

当年度は、歳入決算額16,373,766千円に対し、歳出決算額16,195,192千円である。

歳入歳出差引額は、178,574千円の黒字であり、全額翌年度へ繰り越されている。

前年度に比べ歳入で3,183,817千円(△16.3％)、歳出で2,457,450千円(△13.2％)それぞれ減少している。減少の主な要因は、平成30年度からの国保事業の広域化(制度変更)に伴い、歳入では、国庫支出金、療養給付費等交付金、前期高齢者交付金及び共同事業交付金が、歳出では、後期高齢者支援金等、介護納付金及び共同事業拠出金などが皆減となったことによるものである。

国民健康保険税の収納状況は、前年度に比べ収入済額で140,058千円(△4.3％)

減少し、収入未済額で6,426千円(0.7％)増加している。

また、収納率は76.1％で、前年度に比べ0.3ポイント低下している。

不納欠損額は34,135千円で、前年度に比べ31,422千円(△47.9％)減少している。

なお、予算に定められた一時借入金の借入れの最高額は1,500,000千円であるが、借入れはなかった。

　　歳出予算の流用は、予算の定めに従って適正に処理されていた。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　 （単位：千円・％）

(注)「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 (単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 (単位：千円・％)



国民健康保険税収納状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　(単位：千円・％)



(注)「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

国民健康保険税と保険給付費等の比較



保険給付費の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 (単位：千円・件)



２　荻布奨学金事業会計

当年度は歳入歳出決算額とも1,842千円の同額である。

歳入では、荻布奨学基金からの繰入金1,324千円は、前年度に比べ387千円(41.3％)

増加している。

奨学金は、19人の高校生及び高専生に対し1,824千円支給されている。

歳入決算状況 　　 　(単位：千円・％)



歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



奨学金支給状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



３　駐車場事業会計

当年度は歳入歳出決算額とも390,601千円の同額である。

事業収入は252,791千円で、前年度に比べ13,527千円(5.7％)増加している。これは、御旅屋駐車場の事業収入が661千円減少したものの、高岡中央駐車場で13,923千円、高岡駐車場で265千円それぞれ増加したことによるものである。

　地方債は、起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法について、予算の定めに従って行われていた。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



市債現在高の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



　御旅屋駐車場利用状況

　(注)（　）内数字は、合計台数の内数。

高岡中央駐車場利用状況

　(注)（　）内数字は、合計台数の内数。

高岡駐車場利用状況

　(注)（　）内数字は、合計台数の内数。

４　工業団地造成事業会計

当年度は、歳入決算額500,270千円に対し、歳出決算額500,198千円で、歳入歳出差引額72千円は、翌年度へ繰り越すべき財源として繰り越されている。

前年度に比べ歳入で1,302,802千円（△72.3％）、歳出で1,302,864千円(△72.3％)

それぞれ減少している。これは主に、歳入では、前年度に四日市工業団地を分譲したことにより財産収入で677,635千円(△99.4％)、ＩＣパーク高岡の造成に伴う市債で621,600千円(△56.5％)減少したことによるものである。歳出では、前年度にＩＣパーク高岡の造成に係る用地取得が完了したことにより工業団地造成事業費で690,072千円（△58.4％）、前年度に四日市工業団地の分譲に伴う繰上償還を実施したことにより公債費で612,792千円（△98.6％）減少したことによるものである。

地方債は、起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法について、予算の定めに従って行われていた。

なお、予算に定められた一時借入金の借入れの最高額は1,200,000千円であるが、借入れはなかった。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



市債現在高の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



翌年度繰越事業

当年度から翌年度へ繰り越された事業は、継続費逓次繰越１件となっている。

継続費逓次繰越の内容　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）



５　介護保険事業会計

当年度は歳入決算額17,643,253千円に対し、歳出決算額17,611,903千円で、歳入歳出差引額は、31,350千円の黒字であり、全額翌年度へ繰り越されている｡

前年度に比べ歳入で184,258千円(1.1％)、 歳出で280,655千円(1.6％)それぞれ増加している。これは主に、歳入では、支払基金交付金で162,641千円(△3.5％)減少したものの、国庫支出金で163,504千円（4.2％）、繰入金で162,740千円(6.6％)それぞれ増加したことによるものである。歳出では、介護サービスを利用した際に支払われる保険給付費で174,373千円(1.1％)、介護予防・生活支援サービス事業や包括的支援事業などの地域支援事業費で150,739千円（28.9％）それぞれ増加したことによるものである。

なお、予算に定められた一時借入金の借入れの最高額は300,000千円であるが、借入れはなかった。

　歳出予算の流用は、予算の定めに従って適正に処理されていた。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



(注)「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



第１号被保険者の介護保険料収納状況　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



(注)「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

保険給付費の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・件)

６　後期高齢者医療事業会計

当年度は歳入決算額2,393,016千円に対し、歳出決算額2,382,367千円で、歳入歳出

差引額は、10,649千円の黒字であり、全額翌年度へ繰り越されている｡

前年度に比べ歳入で82,886千円（3.6％）、歳出で84,321千円（3.7％）それぞれ増加している。これは主に、歳入では、後期高齢者医療保険料で62,516千円（3.5％）、歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金で89,922千円（4.0％）それぞれ増加したことによるものである。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



（注）「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)

